

はじめに

本報告書は、2003年11月22日に開催した「カーシェアリング・フォーラム2003」における講演、報告、討論内容等をまとめたものです。

自動車を複数の人で組織的に共同利用するカーシェアリングへの関心が高まりつつあります。個人にとってはマイカーに近い移動手段をより安く確保できるうえ、社会的にも、車に占拠される都市空間の節約をもたらすほか、車の絶対量や交通量を削減し、交通・環境問題の改善効果が期待されるためです。

しかしながら、カーシェアリングは小規模では不採算なほか、わが国では未だ認知度が低く、関連法規制が未整備なこともあり、普及が進んでいません。

そこで、カーシェアリングに関心を持たれている全国の人たちが一堂に会し、海外の先進事例や、わが国の先駆的な取り組みについて情報を共有し、わが国での普及のための方策を討論するとともに、相互の連携を深めることを目的として、本フォーラムを開催しました。

本フォーラム開催にあたりましては、国土交通省、環境省、東京都環境局にご後援いただいたほか、国土交通政策研究所やメーリングリスト「カーシェアリング・フォーラム」幹事の方々をはじめ、多くの方々にご支援、ご協力を賜りました。皆様に厚く御礼申し上げます。

本報告書が、カーシェアリングに関心を持たれている行政、事業者、市民団体、市民、研究者等の方々に広く活用され、わが国におけるカーシェアリング普及の一助となれば幸いです。

2004年2月

交通エコロジー・モビリティ財団  
理事長 淡路 均